



持続可能で包摂的な未来
に向けた変革的なSTI政
策のための大臣宣言

非公式翻訳



OECDによる法的規範

本書は、OECD事務総長の責任のもとで発行されている。本書で表明されている意見や主張は、必ずしもOECD加盟国の公式見解を反映するものではない。

本文書並びに掲載のデータ及び地図は、領土に関する地位或いは主権、定められた国境及び境界、またいかなる領土、都市、地域の名称をも害するものではない。

本文書は(無料)無償で提供される。それがいかなる点においても変更されない限り、本文書は追加の許可を必要とせずに(無料)無償で複製し配布することができる。本文書を販売することは許されない。

この翻訳は文部科学省によって情報提供の目的のために準備されていますが、その正確性はOECDによって保証されません。唯一の公式版はOECDのウェブサイト<https://legalinstruments.oecd.org>で利用可能な英語とフランス語のテキストです。

1. 我々閣僚及び代表者(アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、クロアチア、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、日本、韓国、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ペルー、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、タイ、トルコ、イギリス、アメリカ、および欧州連合)は、フランス議長、オーストリア、コロンビア、韓国、ノルウェー、スペイン、スイス副議長により、2024年4月23日～24日にパリのOECD本部で開催される科学技術政策委員会(GSTP)の閣僚級会合において、変革的な科学技術イノベーション(STI)政策の変革に向けたアジェンダを議論した。このアジェンダは、共通の価値観と強化された国際協力に基づき、責任ある公平な研究開発イノベーションを促進するものであり、気候変動等の重大な地球規模課題に対し一層効果的に対応し、持続可能な開発目標の達成に向けた進展を加速させ、人々の経済的・社会的幸福を増大させるものである。
2. 我々は、OECDのコアとなる価値観、とりわけ個人の自由の保護、民主主義の価値、法の支配、人権の保護を支持する。
3. 我々は、韓国のテジョンで開催された2015年のGSTP閣僚級会合の成果、特に、オープンサイエンスを拡大するための政策原則を提供し、マルチステークホルダーアプローチの重要性を認め、デジタル時代における国際協力の必要性を強調する、グローバル時代およびデジタル時代の科学・技術イノベーション政策に関する宣言[[OECD/LEGAL/0416](#)]を想起する。
4. 我々は、ロシアによるウクライナへの侵略を、明白な国際法違反であり、ルールに基づく国際秩序に対する深刻な脅威であるとして、最も強い言葉で非難しているOECD理事会声明を想起するとともに、国連総会決議 [A/RES/ES-11/1](#) を想起する。
5. 我々は、紛争が科学技術イノベーションにおける国際協力や、グローバルな科学とイノベーションのネットワークに与える影響に深い懸念を抱いている。

変革的な科学技術イノベーション政策の立案と実施

6. 我々は、不平等と貧困、地政学的緊張や紛争を背景に、海洋への影響を含む気候変動、生物多様性の損失や汚染、さらには新型の疾病やパンデミック、食糧、水、エネルギー供給における増大する不安の増大といった危機に緊急に取り組むために、科学技術イノベーション政策が果たす役割が極めて重要であることを認識する。
7. 我々は、COVID-19の大流行が、社会科学や人文科学とともに、科学技術・イノベーションへの長期的な公共投資と民間投資の価値を実証し、不測のショックに対処するための備えと回復力の強化の重要性をより一層強調したことを認識する。
8. 我々は、変革に真の影響を与えるために、科学技術イノベーションの政策立案者が、科学技術イノベーションの相互関連性を認識し、地域の状況を考慮した政府全体および社会全体のアプローチを通じて、部門を超えたエビデンスに基づく政策に情報を提供し、貢献することが重要な役割であることを認識する。

9. 私たちは次のことを約束する。
- 気候変動や海洋の持続可能な利用を含む持続可能な開発目標(SDGs)の達成を支援するため、より包括的、機動的、先見的、実験的で、社会的に期待される方向性を反映した、変革的な科学技術イノベーションのアジェンダを策定し、実施する。
 - 基礎研究、実験研究、利用を目的とした研究、自由な発想に基づく研究、ミッション指向型研究、持続可能な研究インフラ、人材といった、知識を発展させグローバルな課題に取り組むために必要な公的研究開発(R&D)への投資を継続する。
 - 企業や民間金融機関を含む民間セクターが、研究開発やイノベーションに投資し、特に社会的・環境的ニーズに対応するために、研究室から市場に至るまで官民パートナーシップに関与するインセンティブを促進する。
 - 科学技術イノベーションにおけるスキル訓練と生涯学習プログラムへの多様で公平かつ包括的なアクセスを促進することにより、人的資本及びスキルのある機敏な人材を育成する。
10. 我々は、加盟国およびパートナー国の経済競争力、安全保障、レジリエンスを促進する一方で、グローバルな課題によりよく対処するために、政府全体かつ社会全体でのアプローチと、研究とイノベーションにおける国際協力の強化を求める、野心的な OECD の「[変革的な科学技術イノベーション政策のためのアジェンダ](#)」を歓迎する。
11. 我々は、OECD に対し、CSTP を通じて、また他の関連する OECD の各委員会と協力して、次のことを行うよう求める。
- より公正で持続可能な経済・社会を実現するため、政府全体として効率的な変革的科学技術イノベーション政策のガバナンス、設計、実施、評価のためのガイダンスを提供する。
 - グローバルな課題に対応し、レジリエンスを構築するための各国の能力を向上させるため、研究開発、ミッション指向型研究・イノベーション、研究インフラに対する公的・民間資金の効率性と有効性に関する分析をさらに進める。

国際協力における共有価値の強化と技術ガバナンス

12. 我々は、国際的な科学技術イノベーション協力のガバナンスにおける各国のアプローチの相違が、科学的知識のオープンな循環と交換に課題をもたらし、開放性を促進し、正当な安全保障上の懸念を反映し、かつ、互惠性、透明性、説明責任、相互利益などの共有された価値観に基づく国際協力メカニズムの再評価と再参加を必要としていることを認識する。
13. 我々は、世界規模の課題に対する斬新な解決策と持続可能な経済成長の機会を提供するための新興技術の変革的な可能性と、誤用の可能性や予期せぬ結果から生じる倫理的、安全・セキュリティ上のリスクとのバランスをとる必要性を認識する。
14. 我々は、発展を支援し、ありとあらゆる性質の危機を克服し、社会的不平等に取り組むための技術へのアクセスにおける国家間の非対称性を認識し、自主的かつ相互に合意された条件で、安全かつ確実な技術の開発、移転、普及を促進するための効果的なメカニズムを議論及び提案する必要性を認識する。

15. 私たちは、次のことを約束する。
- 科学技術イノベーションにおける共通価値観と原則、特に学問・科学的の自由、科学的卓越性、公開性、透明性、互惠性、説明責任、研究倫理、研究インテグリティ・セキュリティ、そして多様性、公平性、包括性、アクセシビリティを推進する。これらは全て責任ある研究とイノベーションを支えるものである。
 - 知識の包括的な生産を促進し、プライバシー、セキュリティ、統計上の機密保持、倫理的配慮を尊重しつつ、分野、部門、国境を越えて、公的資金による科学文献や研究データへの公平なアクセスを確保するために、FAIR (Findability、Accessibility、Interoperability、Reusability) 原則や CARE (Collective Benefit、Authority to Control、Responsibility、Ethics) 原則のような倫理データガバナンスのためのフレームワークを含む、データ管理とスチュワードシップのためのオープンサイエンスの原則と実践を確保する。
 - 知識を発展させ、グローバルな課題に取り組むため、知的財産権、データ保護、プライバシー、人権、倫理規範を尊重しつつ、オープンで、公正で、安全で、正当で、相互互惠的な科学技術・イノベーションにおける自主的かつ相互的科学的な知識の交換と、国際協力を推進する。
16. 我々は、OECD の「[新興技術の先見的ガバナンス枠組み](#)」を歓迎する。このフレームワークは、政策立案者やその他の関係者が、潜在的なリスクを管理しつつ、新興技術の変革的な可能性を実現できるよう、テクノロジーガバナンス・システムを設計できるようにすることを目的としている。
17. 我々は、特に Global Forum on Technology の枠組みにおいて、非加盟国及び国際機関を含むマルチステークホルダーとの国際協力における共通価値観とテクノロジーガバナンスに関する交流を促進する OECD の役割を歓迎する。
18. 我々は、OECD に対し、GSTP を通じて、また他の関連する OECD の各委員会と協力して、次のことを行うよう求める。
- 技術の社会的・環境的・経済的影響をよりよく予測するための技術評価ツール及び Global Forum on Technology の洞察に基づいた人間中心、権利ベースの技術ガバナンスの枠組みと責任あるイノベーションのためのガイダンスを開発する。
 - 加盟国およびパートナーエコノミーが、オープンサイエンスの原則、並びに、特に査読付き出版物及び研究データへの一般アクセスの能力強化に関してオープンサイエンス政策及び実践を促進し確立するためのガイドラインを実施することを支援する。
 - 加盟国及びパートナー国が、研究インテグリティ・セキュリティ及び各国の状況に配慮しつつ、共通の価値観に基づき、新興経済国及び発展途上経済国を含め、国際協力、研究における連帯、人材の流動性と頭脳循環を強化することを支援する。

科学技術イノベーションをより包括的にする

19. 我々は、人間を科学技術イノベーションの中心に置き、ビジネスや労働組合を含む多様な利害関係者や市民社会を政策設計、実施、評価に積極的に関与させることの重要性を認識する。

20. 我々は、テクノロジーによって促進されるジェンダーに基づく暴力を防止・対応する必要性を認識することを含め、STEM 教育とキャリアにおいて、女性のフル参加を可能にすることを含む、多様な代表のための安全な環境を醸成する必要性を認識する。
21. 我々は、特に次のことを推進することにより、科学技術イノベーションをより包括的かつ参加型で利用しやすいものにするのを約束する。
 - 関連する市民社会関係者との社会的対話の強化を通じて、全てのステークホルダーの参加を促進するための施策を推進する。
 - 科学・研究への一般市民の関与を促進し、科学技術イノベーションに対する一般市民の信頼を構築する政策を推奨することにより、教育・科学・社会間における関係強化と相乗効果を強化する。
 - 社会全体が科学技術イノベーションに全面的に参加し、成功できるようにするため、女性や女兒を含む十分なサービスを受けられず、疎外され、過少評価されているグループの包摂性等を通じて、多様性、公平性、包摂性、アクセシビリティを引き続き推進する。
 - 特に研究者の不安定性を軽減し、労働条件を改善し、部門や国境を越えた研究者の流動性と頭脳循環を促進することにより、研究・教育職の質の高いキャリアの魅力と利用可能性を高めるための措置を推進する。
22. 我々は、OECD に対し、CSTP を通じて、また他の関連する OECD の各委員会と協力して、次のことを行うよう求める。
 - 科学・デジタルリテラシー、参加型科学、科学的コミュニケーション、科学的誤報・偽情報への対処に関する活動や伝統的・先住民的知識を含む、政策立案、政策提言、意思決定への科学知識の貢献に関する活動を一層推進する。
 - すべての人々、特に女性の権利、多様性、公平性、包摂性、アクセシビリティ、そして科学技術イノベーションへの参加を促進するためのガイダンスを提供する。
 - 新たな研究イノベーションキャリアに関する観測プログラムの立ち上げを含め、研究・イノベーションにおける能力、包括性、流動性、キャリアを促進するための教育・訓練をモニタリングするためのツールを開発する。

STI 戦略と政策立案のためのエビデンスベースの強化

23. 我々は、科学技術イノベーションにおけるエビデンスベースの政策立案を推進する上で、また、経済・環境・社会的課題に対する政策的解決策を特定し、改善するために、OECD 加盟国、パートナー、ステークホルダーが知識、経験、データを共有する場として、OECD の重要な役割を認識する。
24. 我々は、変革的な科学技術イノベーション戦略や政策を立案し、実施し、評価するためには、最近の技術、ツール、データ、指標が提供する機会を活用し、エビデンスベースかつ戦略的学習能力への投資が必要であることを認識する。

25. 私たちは次のことを約束する。
- 科学技術イノベーションにおける FAIR 原則、統計及び実証的証拠に沿った、信頼でき、信用できる、国際的に比較可能な公式データを活用する。
 - 意思決定や政策立案に活用するために科学技術イノベーションにおけるデータを、責任ある倫理的な方法で収集し、連携・活用するために必要なプロセスに関するガイダンスを提供・支援する。
 - 研究・イノベーションシステムの有効性、効率性、透明性、影響を改善するための評価メカニズム、戦略的インテリジェンス、フォーサイトシステムを促進する。
26. 我々は、OECD に対し、CSTP を通じて、また他の関連する OECD の各委員会と協力して、次のことを行うよう求める。
- 科学技術イノベーションシステム及び政策とその影響に関する、特に、公正かつグリーンな移行を含む持続可能な開発目標に関する国際統計、データ資源、新たなエビデンスを提供する。
 - 加盟国及びパートナー国における STI の統計能力を強化するための政策基準／勧告及びツールの開発を進める。
 - 変革的な科学技術イノベーション政策アジェンダを支援するための測定とエビデンスを共同開発するため、OECD の科学イノベーション指標に関するブルースカイフォーラムの開催を通じて、国際的な専門家コミュニティを招集するフォーラムとしての役割を果たす。
27. 我々は、CSTP における本宣言のフォローアップを支援するとともに、採択から 5～10 年後の進捗状況を把握するため、他の関連する国際機関を含め、さらなる対話を歓迎する。